



あすてで活動するには

III KOBA

I KOBA

テントひろば

本館

MWT

金KOBA

Collina Naturale

木KOBA



設立の趣旨



《1966年設立時の趣旨》

人が善意をもって他者のために時間と能力を捧げるという

ボランティアの精神とその働きが、地域に広がって

住みよい社会になっていくこと

フィロソフィー



豊田綱領

- 一、上下一致、至誠業務に服し、産業報国の実を挙ぐべし。
- 一、研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし。
- 一、華美を戒め、質実剛健たるべし。
- 一、温情友愛の精神を発揮し、家庭的美風を作興すべし。
- 一、神仏を尊崇し、報恩感謝の生活を為すべし。

基本理念



ボランティア精神

あいてをおもいやり

公共性

すすんでみずから

自主性

てとてをむすんで

協調性

十 無償であること

あすでの使命



笑顔あふれる社会を目指します。

中期目標（2021～2025）



心をつむぐ あしたを織る

心をつむぐ
あしたを織る

心をつむぐ
あしたを織る

グループの目標に向かって活動する中で、
メンバーが心を寄せ合ってつむいだ糸を撚り合わせ、丈夫な糸にします



それぞれのグループの糸をさらに撚り合わせて、
あすでの目標（笑顔あふれる社会）に向かって、あしたを織ります

目標を達成するための活動とは



すべて社会貢献活動です。

あすてに登録する全ての方は、ボランティア精神を持って社会貢献活動をします。

社会貢献活動とは、社会のために役に立つこと

あすては約100社の企業から賛助金をいただいて運営しています。

その賛助金は従業員の汗の結晶であり、企業からあすてに託された尊いお金です。

1円たりとも無駄にすることなく、有意義に使って、企業に代わって社会貢献をする義務があります。

時代の変化に伴う あすでの役割の推移



1966年設立当初 故郷を離れて働きに来る勤労青少年のお母さん役

1990年以降 入管法の改正により外国人の増加によるサポート

2010年頃～ 技能を持った定年退職者の社会貢献の受け皿

あすてに求められていること



1966年、故郷を遠く離れて働きにやってきた勤労青年たちのお母さん役として始めました。ボランティア母さんたちのあたたかいふれあいを受けた彼らは、各々の会社で技を身につけ、立派なリーダーとなって後継者を育て、次々と退職の時期を迎えています。

技を身につけて退職した人たちが、今度は会社を離れて地域のために、その技を生かして、ものを作ったり、次代を担う若い人たちに伝えるなどして、社会に貢献することのできる場、受け皿を作っていくことがあすてに求められていることです。

あすてに求められているキーワードは「ものづくり」

グループ登録とヒアリングについて



◆ なぜ毎年グループ登録をするのでしょうか？

活動がマンネリ化して目的を失ってしまわないよう、実りのある活動にするため、全員で目的を確認し、心を新たにします。

◆ なぜヒアリングをするのでしょうか？

活動の目的や社会にどう貢献できるかを事務局と共有し、グループのメンバー全員が同じベクトルで活動できるようにします。

あすては



老人クラブではありません。

同じ趣味を持つ人たちが集まってお互いに支えあって楽しむことは良いことですが、あすてはそのようなところではありません。

文化センターではありません。

講座・講習会などで自分を向上させることは重要なことですが、あすてはそのようなところではありません。

その先の社会貢献が必要なのです。



あすてでしかできない

あすてならではの

社会貢献活動をしませんか？

みんなで協力して

笑顔あふれる社会にしましょう！